

# 一般質問



さんがわ よしえ  
**寒川 佳枝** 議員  
公明党議員会



## 30歳代の乳がん検診を

**Q** 若い世代でも乳がんの罹患者は増えており、患者の中には早期に乳がんを発見しても、全摘手術を受けなければならぬ人もいることから、早期発見のため、30歳代の乳がん検診を実施してはどうか。

**A** 30歳代の乳がん罹患者数などの現状を踏まえ、検討した結果、本市独自の対策として、子育て世代の35歳から39歳の女性に対し、超音波検査による乳がん検診を令和5年度から実施していく方向で考えています。子育て世代の若い世代に対し、がん検診への関心を高め、継続的な検診の推進を図り、安心して子供を産み育てられる環境づくりと市民の健康を守る取組を実施していきます。  
(市長)

### 質問の主な項目

- ・ AEDの有効性向上について

## 新たな子育て支援策は

**Q** 国が総合経済対策として打ち出した新たな子育て支援策である伴走型相談支援と経済的支援はどのように実施する予定か。

**A** 本市では、伴走型相談支援の取組として、これまでと同様に妊娠届出時及び出生届出時等に面談を実施し、その時々のお悩みや不安に寄り添って相談支援を行い、切れ目のない継続的な支援を実施します。

また、経済的支援として、妊娠届出時の面談後に妊婦1人当たり5万円、出生届出後の面談後に子供1人当たり5万円の現金を給付する予定であり、令和4年4月以降に出生された全ての方を対象とします。

さらに、出産後1年未満の産婦及び乳児が利用できる産後ケア事業の充実を図り、令和5年1月から日帰り型と居宅型のサービスについて、利用者負担の無料化を実施し、必要なサービスが利用できるような体制整備を進め、ニーズに即していきます。  
(市長)

## 旧市立病院の跡地を公園に

**Q** 町の価値を高めるため、学校や幼稚園などの文教施設が近くに多くある旧市立病院跡地を、おしゃやれで子育て世代や学生が集まる公園に整備してはどうか。

**A** 市民1人当たりの公園面積が全国平均を大きく下回る現状や、令和4年9月実施のアンケート調査において、公園や緑地等で憩いの時間が過ごせないと感じる人が多かった結果を受け、まずは、既設公園の利活用に向け、駐車場の整備等可能なものから順次改善に取り組んでいきます。その上で、多様な世代が日常的に集い、交流し、幸せを実感できるような居場所づくりを実現するために、旧市立病院跡地も含めた中心市街地における公園の整備について検討していきます。  
(市長)



おおまえ かんじょう  
**大前 寛乗** 議員  
自民党市政会



## 子育て用品の貸出しを

**Q** 6歳未満の子供の着用が義務づけられている一方、高額であるチャイルドシートや、ベビーカーなどの子育て用品を乳幼児の保護者に無料で貸し出してはどうか。

**A** SDGsの観点から、子育て用品の貸出事業は重要な施策と考えており、特に、産後すぐに必要となるチャイルドシートについては、メリット・デメリットを整理し、新年度からの貸出事業開始に向けて準備を進めています。  
(市長)



### 質問の主な項目

- ・ 市長の政治姿勢について
- ・ 市民の健康を守る施策について

など